

## 普及活動情勢報告

情勢報告（平成29年7月分）

須崎農業振興センター高南農業改良普及所

### 炭そ病克服への取り組み ～イチゴ育苗現地検討会の開催～



意見を交わす生産者

7月6日、四万十町内でイチゴ育苗の現地検討会を開催しました。炭そ病対策として雨よけ育苗の普及を図る目的で普及所が呼び掛けたもので、町内4か所のほ場を巡回し、イチゴ生産農家7名が参加しました。

栽培ハウス内で育苗を行っている西森さんのほ場では、生産者から、「高温の影響は？」などの質問があり、「時々、他の農家のやり方をみると参考になる」との感想が聞かれました。

今後は、他産地との連携を図りながら、イチゴの生産安定に取り組んでいきます。

### トマト萎凋症の発生状況と対処法 ～次世代施設園芸団地社員研修会の開催～



熱心に勉強する社員

7月6日、農業担い手育成センターで、四万十町次世代施設園芸団地の社員研修会を開催し、社員6名が参加しました。

普及所は団地内で発生したトマト萎凋症の概況について、農業技術センターは、新しい病気の可能性があることを説明しました。

その後、社員と関係機関で次作に向けての対策を話し合い、栽培終了後の残さ除去の徹底や、栽培ベッドの塩素消毒の実施、栽培期間中の摘葉時には茎際で切断すること、定期的な銅剤予防散布等を行うことを確認しました。

今後は、栽培初期の病害虫防除管理をしっかり指導していきます。

### 収量品質の向上 ～シシトウ現地検討会の開催～



ほ場で意見交換する生産者

6月30日、7月4日～7日にJA高知はた大正・十和支所の12地区でシシトウの現地検討会を開催し、74名が参加しました。

北幡営農センターからは、樹勢の判断や整枝せん定、病害虫防除、使用農薬報告書の記入方法などについて、普及所からはかん水管理や追肥、農薬の適正使用と効率的な防除方法について説明しました。生産者からは、「かん水や防除の時間帯は？」「追肥の位置は？」等の質問がありました。

今後は、現地巡回により、JA営農指導員と共にシシトウの収量品質向上を図っていきます。

## 四万十町人づくり戦略「産業振興塾」がスタート！ ～農業者ネットワーク会議の開催～



グループワークの結果  
発表を聞く農業者

7月18日、四万十町農村環境改善センターで四万十町人材育成推進センターが主催する第1回農業者ネットワーク会議（ネットワーク会員34名）が開催され、農業者15名が参加しました。

四万十町の産業を元気にする人材育成の一環として今回農業者ネットワークを設立、第1回目となる本会議では、4班に分かれてグループワークを行い「魅力ある農業にしたい」「収入の安定化や人手不足への対応が必要」などの意見が出されました。また、普及所は、四万十町への新しい人の流れを作る「農家住宅」について説明しました。

今後は、関係機関と協力して、今回得られた提案などを一つずつ実現できるよう支援していきます。

## 高知県立大学との連携による取り組みへの支援

### ～JA四万十手づくりキッチンスタッフ会の開催～



県立大生が考案する  
魚料理の試食

JA四万十女性部手づくりキッチンでは、昨年度に引き続き、高知県立大学健康栄養学部健康栄養学科の学生の協力を得て、手づくり弁当のニーズ調査、お客様の意見を取り入れた弁当づくりに取り組んでいます。

7月12日のスタッフ会（8名出席）では、県立大生が5月の連休に実施した手づくり弁当のニーズ調査の結果報告とお客様からの要望のある魚のおかず8品の試食、検討を行いました。調査結果から改善要望や顧客満足度を知ることができ、スタッフからは「お客様の声を聞くことができ励みになる」といった声も聞かれました。

8月には、お弁当のニーズ調査と併せて店頭での魚のおかずの試食を実施し、今後の弁当作りに活かしていく予定です。